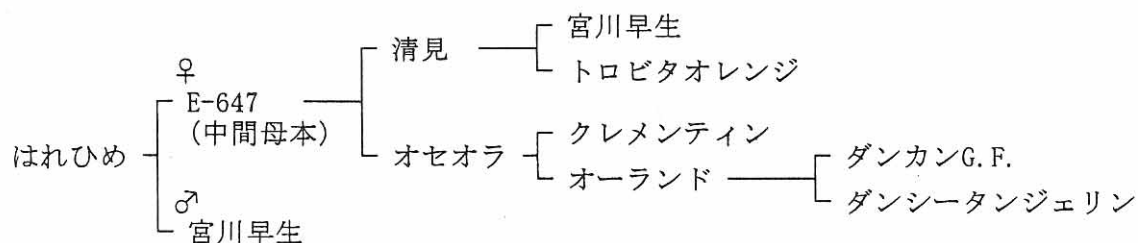


新たに登録されたカンキツ「はれひめ」（興津54号）の特性						
[要約] 「はれひめ」は11月下旬以降が可食期となる。はく皮が容易で、浮き皮が発生しない新しい系統である。含核数は少なく、食味良好である。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導
平成11、12年度長崎県果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

独立行政法人農業技術研究機構果樹研究所で育成されたカンキツ新系統「はれひめ」の果実形質を調査し、本県への適応性を明らかにする。

新系統の系統図



[成果の内容・特徴]

- ①果実重は200g程度で、果形指数 110程度の扁球形の果実である（表1）。
- ②果皮色は黄橙色～橙色で、果皮はやや厚いが、浮き皮果はほとんど発生せず、剥皮性はよい。
- ③じょうのう膜の厚さは中程度、果肉の硬さは軟～中程度で、ほのかなオレンジ香がある（表2）。
- ④露地栽培では、11月下中旬に酸含量が1.0g/100ml以下となり減酸が早く、糖度は10～11程度である。施設栽培では、糖度はやや低く、酸含量は露地栽培と同程度である（表2）。
- ⑤そうか病、かいよう病にはやや弱い（系統適応性・特性検定試験成績）。

[成果の活用面・留意点]

平成13年 7月 3日に命名登録された。

減酸は早いですが、着色が遅く完全着色となるのは12月上旬である。また、糖度が10度台でやや低い。ため、栽培は土壌が乾燥しやすいほ場で行うか、シートマルチ栽培を徹底して糖度向上・着色促進を図ることが望ましい。

[具体的データ]

表1 「はれひめ」の果実及び果皮の特性

年度	栽培法	調査 月日	果形 指数	1果 平均重 (g)	果			皮		
					果皮色	カーチ ヤート値 (赤道部)	粗滑	はく皮 の難易	厚さ (mm)	浮き皮
1999	露地	12. 2	119	176	黄橙	7.2	中	易	4.0	無
		12.20	125	204	橙	8.6	中～粗	易	3.6	無
		1.24	-	161	橙	8.7	中	易	-	無
	施設	12.20	124	255	黄橙	7.9	粗	易	3.9	無
		1.24	-	260	橙	8.6	粗	易	-	無
2000	露地	11.20	109	177	黄橙	3.3	中	易	-	無
		12. 5	112	196	黄橙	5.2	中	易	-	無
		12.20	114	184	橙	7.3	中	易	3.8	無
	施設	11.20	115	226	黄橙	3.3	中	易	-	無
		12. 5	111	202	黄橙	4.9	中	易	-	無
		12.20	108	217	黄橙	7.9	中	易	3.4	無
		1.19	113	225	橙	8.3	中	易	3.7	無

* 開花日 1999年（露地:5. 5、施設:4.26） 2000年（露地:5.11、施設:5. 3）

表2 「はれひめ」の果肉の特性及び品質

年度	栽培法	調査 月日	果 肉		さじょう			果 汁		
			果肉 歩合 (%)	じょうのう 膜の厚さ	色	硬さ	含核数*	糖度	酸含量	糖酸比
1999	露地	12. 2	73.7	やや厚	橙	中	0	10.6	0.86	12.3
		12.20	72.8	やや厚	橙	中	2.0	11.0	0.90	12.2
		1.24	72.0	やや厚	橙	中	-	10.3	0.68	15.1
	施設	12.20	71.3	やや厚	橙	中	4.2	9.6	0.84	11.5
		1.24	67.9	やや厚	橙	中	-	9.5	0.71	13.4
2000	露地	11.20	71.7	薄	橙	軟	-	10.4	0.78	13.3
		12. 5	73.2	薄	橙	軟	-	10.7	0.73	14.7
		12.20	70.5	薄	橙	軟	2.4	10.4	0.72	14.4
	施設	11.20	73.1	薄	橙	軟	-	9.5	0.85	11.2
		12. 5	74.2	薄	橙	軟	-	9.8	0.81	12.1
		12.20	72.2	薄	橙	軟	10.0	10.0	0.76	13.2
		1.19	68.7	薄	橙	軟	10.0	10.4	0.71	14.6

* 完全種子数

[その他]

研究課題名：有望中晩生カンキツの栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成13年度（平成11年～15年）

研究担当者：山下次郎、濱口壽幸

発表論文等：平成11年度、平成12年度 長崎県果樹試験場業務報告